**水琴窟**

宝泉院は、1,200年ほど前に中国から日本に紹介された「声明」仏の讃誦が行われた初期の場所の一つとして長い歴史を持っています。

「水琴の洞窟」と翻訳される「水琴窟」は、これらの詠唱を彷彿とさせる。

客殿の「縁側」には、2本の膝ほどの高さまである竹筒が突き出ている木製のデッキがあります。訪問者は、くり抜かれた竹筒から聞こえる音に耳を傾けるよう勧められます。

地面の下には陶器の容器が埋まっています。近くの「つくばい」（手水鉢）から滴り落ちた水が容器の中に落ちた時に発生する反響音を楽しむものです。この音色は僧侶の「声明」の詠唱に匹敵します。